

全国病児保育協議会のホームページ

<http://www.byoujijoiku.ne.jp>

全国病児保育
協議会
広報委員会

病児保育協議会ニュース



＝今号の目次＝

- 1頁 協議会メール 全国研究大会への期待
- 2頁 加盟施設紹介
病後児保育室 あきやまルーム
細木病院 キューピットハウス
望之門保育園病後児保育室 のたんルーム
ひばりゆりかご保育園病後児保育室「ねむの木」
- 3頁 加盟施設紹介
福岡市西部病児デイケアルームおもちゃばこ
病児保育室「きりん」
かるがも病児託児ルーム
病児保育室プエリ

- 4頁 ブロック便り 三重ブロックから
ブロック便り 東京都支部から
- 5頁 ブロック便り 北東北ブロックから
全国病児保育協議会新規加入の施設
- 6頁 協議会 TOPICS
第17回研究大会福岡大会紹介
できました新しい施設紹介ポスター
- 7頁 診察室から10
リレー保育日誌9
- 8頁 病児保育協議会発行の書籍紹介
平成20年開催第18回研究大会のお知らせ
全国病児保育協議会新規加入の施設

協議会メール

第17回全国研究大会への期待、大いに学びましょう！

全国病児保育協議会 会長 木野 稔

いよいよ第17回全国病児保育研究大会まで、残すところあと僅かとなりました。横浜、岡山、大阪と全国で持ち回り開催されるようになり、今年は初めて九州の地、福岡で行われます。大会会頭である高崎好生先生を筆頭に、実行委員長である井上賢太郎先生、事務局の進藤静生先生をはじめ実行委員会のご尽力によりたいへん素晴らしい企画になっています。

もうすでに520名を越える事前登録者があり、プログラム・抄録集もお手元に届いていることと思いますが、実に幅広く、盛り沢山の素晴らしい内容です。初日の帆足顧問による基調講演「病児保育の資質向上に向けて」は、今回のメインテーマである「拓こう病児保育の未来へ」と相応した演題名となっています。高崎会頭のご挨拶のお言葉にありますように、全国病児保育協議会の活動は、これまで「病児保育(学)の体系作り」、「組織と内容の充実」、「一般社会への啓蒙」、「行政への対応」等“病児保育”の創成期で、これからはさらに発展していく成長期と言えます、言いかえれば“集中”から“分化”の時期を迎えています。

病児保育は、育児において最も困った時にその環境を整え、子ども達の健やかな成長を保障する事業です。「良いものは広がる、良いものを広げる」という理念と使命を推し進める時期な

のでしょう。

今年も厚生労働省母子保健課の担当者による行政説明があります。子ども・子育て応援プランによりますと、3年後には全国で1500か所と現在の倍以上に実施施設が広がることになっています。今年度から保育園型病児保育、自園型病児保育など、あたらしい形での拡充が始動していますが、国の方針を直接聞く良い機会にもなると思います。

特別講演および教育講演の3題は、全てそれぞれの分野のエキスパートの先生方が病児保育と関連してお話くださるわけで、じっくりとご高説を拝聴したいと今から期待に胸を膨らませています。一方、研修委員会企画による研修プログラムは、現場の病児保育室のスタッフには、日常の保育と看護の内容を見直し、さらなる向上に向けて新たに目標を見出すための必須項目となっています。一度ならず、二度・三度と聞いて再確認して下さるようお願いいたします。

また、ステップアップ研修「知って得するお薬講座2007」は昨年の大会でもスタッフに一番人気の内容で、引き続きお薬なんでも相談も行ってもらいます。なんでも相談は施設の運営・管理、保育看護の実際と2分野においても、自由な質疑と活発な意見交換がなされることでしょう。

さて、一般演題は、今年は44題と過去最高の応募があり、口演(24題)とポスター(20題)で発表されます。各施設の事情を説明し合う良い交歓の場になること間違いありません。年々活発になる分科会は協議会発展の証です。さらに分科会では、リスクマネジメント調査の一環として、新インシデントレポートシステム運用についての研修会が調査研究委員会の企画で行われます。リスクマネジメントは病児保育の質向上には欠かせず、多くの施設がパイロット調査に加わっていただくようお願いいたします。

また、第1日目の昼には地方支部長に集まっていた支部長会が初めて開催されます。本事業がソフト交付金となり実施主体である市町村間で格差が広がっていると予想されますが、事業の問題点、研修の行い方など、各地の事情をお聞きすることにより協議会の活動方針もより明確になると思います。夜の交流会前には総会を開催いたします。執行部から協議会運営状況などを説明させていただきますのでよろしくようお願いいたします。

大会はちょうど博多祇園の山笠のフィナーレを飾る追い山の日です。7月15日午前4時59分の最高潮の熱気の余韻を受けて、病児保育の未来をともに考え、学びましょう。お会いできるのを楽しみにしています。

★ ★ 加 盟 施 設 紹 介 ★ ★

病後児保育室 あきやまルーム

平成14年4月医療併設型の病後児保育室として開設し、今年で6年目を迎えました。

定員は8名で生後4ヶ月から小学4年生までのお子さんをお預かりしています。三鷹駅徒歩1分と交通の便が良いということもあり、市外の方の利用も増えてきています。昨年度は年間868名の利用がありました。

お迎え時に保護者からの“ありがとうございます”“助かりました”などの感謝の言葉や保護者の顔を見て飛んでいく子ども達の姿を見ると、私たちスタッフもほっとしてうれしい気持ちにな

り、また明日も頑張ろうという意欲にもつながっています。

これからも、保護者やお預かりするお子さん達が家庭以外で安心・安全・やすらげる場所として、また“心のよりどころ”の1つになれるようスタッフ一同頑張りたいと思います。

看護師 呉 省子

保育士 久保野谷明子

所在地：181-0012

東京都三鷹市上連雀

1丁目1番5号

TEL：0422-47-3510



細木病院

キューピットハウス

キューピットハウスは、開設から今年で12年目を迎えました。

仕事をしながら子育てを頑張っている保護者の方々の助けとなり、安心してお子さんを預けられるよう日々「安心・安全」に気をつけ関わってきました。

利用する子どもさんの年齢は、乳児から学童未満と幅広く対応しています。子どもの症状に注意しつつ、笑顔で楽しく過ごしてもらえるよう、年齢に合わせた遊びを思考錯誤しながら考えることも、私達の勉強や楽しみとなっています。

これからも、保護者の方や子ども達に「次も

キューピットハウスを利用したい！」と思ってもらえるように、スタッフ一同頑張っていきます。

看護師 堀内 理吏

所在地：780-8535

高知県高知市大膳町37

TEL：088-822-7211



望之門保育園病後児保育室

のんたんルーム

1991年に保育所型の「病気明け保育室ののんたんルーム」を法人の独自事業として始めました。大阪市の委託事業としては丸2年になります。

定員は4名で、スタッフは看護師1名と保育士1名が常駐しています。

お部屋では、温かみのある木の素材のおもちゃを使った室内遊びや、体調がよい日などはベランダに出て可愛いお花を見たりシャボン玉をしたりと病状に応じた保育看護を心がけています。

保護者の方から「子どもがのんたんルームに行きたがっています」「のんたんルームがあって助

かります」と、感謝の声を聞かせて頂くと病後児保育の必要性を感じ、かわっている職員としてやりがいも感じます。

保護者の方と心のコミュニケーションを図り、安心して預けられる場所になれるようにこれからも努めたいと思います。

保育士 上神 繁美

所在地：545-0052

大阪市阿倍野区阿倍野筋

5-13-17

TEL：06-6651-7741



ひばりゆりかご保育園

病後児保育室「ねむの木」

当施設は、平成16年4月に保育所併設型の病後児保育室として開設しました。

鳩山町との委託契約により、運営しております。施設の名称である「ねむの木」の由来は、園庭にあるシンボルの樹木の名前でもあり、「利用する子どもたちが穏やかに、安心して過ごせるように」との願いを込めたものでもあります。

利用頻度は、開設当時と比較して増加傾向にあります。近頃では特に、通常の保育中に、急な発熱などの体調の変化に伴っての利用が多くなっています。これは、他の園児への感染予防や

子どもの静養を大事に考えているからです。私たち看護師は看護の専門職として、保育士との連携を密にし、また、保護者の方とのコミュニケーションを図りながら、子どもたちの病気回復、成長に関わっていきたくと考えています。

看護師 小島 明美

看護師 石井 真弓

所在地：350-0321

埼玉県比企郡鳩山町赤沼

1535-1

TEL：049-298-2261



★ ☆ 加 盟 施 設 紹 介 ☆ ★

福岡市西部病児デイケアルーム おもちゃばこ

おもちゃばこは国および市から補助金の交付を受け、福岡市の委託事業として平成8年に開設された施設です。

保護者が安心して預けられる、そして子供も家庭的雰囲気の中でくつろいで過ごすことが出来る保育室を目指しています。保護者には丁寧な対応を、子供には年齢に応じた季節の歌やわらべ歌遊びなどを取り入れて、楽しく過ごせる環境作りを心掛けています。

食事面では、年齢、症状、食欲の有無に配慮し、食欲がない子でも食べやすい献立を考え提供するように心掛けています。

まだまだ、改善しな

ければいけない点も多く、今後の課題もたくさんありますが、保育室一同日々努力を重ねていきたいと考えます。

保育士 金子 裕美
所在地：819-0052
福岡県福岡市西区下山門4-14-33 高崎小児科内
TEL：092-891-3105



病児保育室「きりん」

病児保育室「きりん」は、平成18年5月に開設し、10月から弘前市より委託を受け、あらいこどもクリニック/眼科クリニックに併設され、医療機関併設型の施設として開設し約1年が経ちました。

「きりん」の定員は4名で保育室の他に隔離室の2部屋を用意し、感染症等様々な病気に対応できるようにしています。小児科併設型のため、医師、看護師、保育士との連携で子どもの状態/症状の変化に迅速に対応できるのも、医療機関併設型の特徴の一つでもあります。

看護師、保育士が、そ

れぞれの経験を活かし、子どもの状態に合わせた遊びを展開することで初めての場所でも不安を感じさせず、安心して過ごせるように心がけています。

これからも、保護者の方々に安心して利用出来る施設であるよう、スタッフ一同努めていきたいと思っています。

所在地：036-8093
青森県弘前市大字城東中央4丁目2-8
TEL：0172-27-2235



かるがも病児託児ルーム

私たちの保育ルームは在宅病児保育室として、2004年8月に任意団体で活動を開始。2005年10月鹿児島県知事の認証を受けNPO法人(特定非営利活動法人)として活動を続けています。現在利用会員数は27家族40名、保育サポーター(看護師・保育士)10名で運営しています。

保育システムは、利用会員の方から預かり依頼を受けると法人登録している保育サポーターへ連絡。病児の自宅・保育園等にお迎えに行きそのままかかりつけの小児科医を受診。主治医より預かり許可をもらいお預かりするシステムです。

「利用会員登録をした」との問い合わせがあるものの、法人の受け入れ体制が整わず会員登録を待っていただいている状況です。

これからも仕事と育児の両立にがんばっている、お父さん・お母さんのサポートを続けられるよう法人運営に努めていきたいと考えています。
所在地：891-1304
鹿児島県鹿児島市本名町802-19
TEL：099-294-1933



病児保育室プエリ

「病児保育室プエリ」は医療機関併設型の病児保育室で、平成16年11月に「片山キッズクリニック」開業と同時に神戸市灘区に開設しました。

定員は12名で、ゆったりとした一般保育室に加え、病原体が室外に漏れ出さないように陰圧換気された隔離保育室を備えています。

子ども達一人ひとりの病状に合わせてきめ細やかな対応ができるように、医師、看護師、保育士が常に連携をとっています。

その中で、子ども達それぞれの年齢や発達に合わせてゆったりとした

リズムで過ごせるように心がけ、季節に合わせた製作、折り紙、お絵描きなどで楽しく過ごしています。

これからも子ども達の笑顔を大切に、子ども達が一泊安心して過ごせる場所を目指していきたいと思っています。

保育士 尾家 由美
所在地：657-0845
兵庫県神戸市灘区岩屋中町4-2-7 BB プラザ
TEL：078-802-5996



東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

三重ブロックから

第4回三重ブロック病児保育学習交流会開催 津病児デイケアルーム「ひまわり」 黒宮 恵子

平成19年3月25日(日)に三重県津市の(医)熱田小児科クリニックにて第4回三重ブロック病児保育学習交流会を開催しました。

全体会では、全国病児保育協議会副会長の二宮剛美先生(四日市市病児保育室カンガルーム施設長)から『協議会の最近の動向について』と題し他県のブロックでの活動状況等も含めお話をしてい



ただきました。

行政(伊賀市)の担当の方を含む18名が参加した〔分科会1〕では、日常業務の中での問題点として『保護者とのつき合い方』や『病児保育に必要な知識をどの様にして得ているか』などについて話し合われました。

その中で(医)熱田小児科クリニックの熱田純副院長からも病児を預かる医師の立場として「(スタッフには)疾患によって見逃してはならないポイントをぜひ知ってもらいたい(疾患理解には学習と経験が必要)」。「インフルエンザ初期の受け入れについては、目を離せない時期だからこそ受け入れて病状をしっかりと確認したいと思う」とのご意見をいただきました。

〔分科会1〕は参加人数が多かった為、時間内に満足いくまで話し

合うことは出来なかったようですが、病児保育に携わって日の浅い方や学習交流会初参加の方から「勉強になった」との感想が寄せられました。

また〔分科会2〕として「全国病児保育研究大会 in 三重」の実行委員会が開かれました。(参加12名)実行委員の岐阜県支部長・福富梯先生、なずな病児保育室(名古屋)・前田敏子先生にもご遠方よりお越しいただき三重らしい大会にすべく終了時間ぎりぎりまで話し合いました。(内容が決定しだい協議会ニュース・ホームページでお知らせします)

三重県での全国大会の開催を一年後に控え慌ただしくなりそうですが、みんなで悩みや苦労を分かち合いはげまし合いながらより良い病児保育の為に日々の業務に励みたいと思っています。

平成19年度からは三重ブロックの事務局が鈴鹿市の「病児保育室ハピールーム」さんに移行いたしました。今後とも三重ブロックをよろしくお願ひいたします。

東京都支部から

第2回東京小児科医会市民公開フォーラムに参加して いなみ小児科付属病児保育室ハグルーム 稲見 誠

平成19年3月11日に「病(後)児保育をもっと知ろう」というテーマで東京小児科医会市民公開フォーラムが、東京都練馬区で開催されました。開催場所は光が丘団地という東京でも有数の巨大団地の区民センターホールで行われ、270人の参加があり大盛況でした。来賓の挨拶後、稲見が基調講演を行い、病児保育の歴史、現状、問題点、今後の展望などを話しました。

その後、俳優伊原剛志さんの奥様の伊原淳子さんが「働くお母の私の子育て」というテーマで対談しました。伊原さんの話のなかで印象的だったのは、子育てに関して1番好きな言葉は「手抜き」と

言われたことでした。

今回のフォーラムの目玉は、病児保育室に子どもを預ける保護者の不安を解消するというシンポジウムでした。医師、看護師、保育士、施設長、利用している保護者がシンポジストで、それぞれの立場からの保護者の不安を解消する話があり、質疑応答がされました。最後に全国病児保育協議会監事の宮田章子先生から、総括の指定発言があり、フォーラムは盛会のうちに終了しました。

今回のフォーラムの目的の1つは、昨年練馬光が丘に開設された単独型病児保育室パルムの認知度の向上であります。パルムは練馬区医師会立で定員10名、内装も

清潔で、隔離室も2箇所あり、十分な広さが確保されています。単独型の問題点である医療機関との連携も、施設長である飯島健志先生をはじめ近隣の小児科医6名が交代で当番医となり、また緊急受け入れ病院も近くにある日大光が丘病院が控えており、万全の体制が出来ています。個人の医療機関が病児保育室を併設し経営することが経済的に困難な現在、パルムは今後の病児保育のモデルになると思われました。

最後に、フォーラムに参加して感じたことは、東京小児科医会が病児保育に関するフォーラムを開催してくれたこと、また当フォーラムの責任者である東京小児科医会副会長の沼口俊介先生を中心に練馬区小児科医会の先生方が病児保育のフォーラムのために大変な努力をして頂いたことは、病児保育に関係している私たちにとって本当にあり難いということでした。

東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

北東北ブロックから
北東北病児保育室交流会
 城東こどもクリニック病児保育室ことりの森 竹内 郁子



平成18年10月29日岩手県盛岡市西部公民館にて北東北病児保育室交流会が行われました。北東北病児保育室交流会は、青森、秋田、岩手三県の病児保育事業実施施設及び事業に関心のある施設間の交流の場として毎年秋開催しています。

午前中は盛岡市内の病児保育室の見学、午後は3つの講演が行われました。病児保育室の見学は、参加者一同で大型バスに乗り、山口クリニックキッズケアルーム風船、岩手愛児会たんぼ病児保育所、医療生協川久保病院虹っ子ケアルーム、わんぱくこどもクリニック病児保育室ままぼけっとを見学させていただきました。各施設

オリジナルの手作りおもちゃ、保育室のディスプレイの工夫などを見て触って遊んでみたりしながら、自分たちの施設でもやってみたいと思えるすばらしい保育の実践の見学ができました。

午後は1. 滝沢村保育協会南巢保育園主任保育士 石倉由起子「一般保育園からみた病児保育室」でした。山口クリニックキッズケアルーム風船院長山口先生より保護者へ子どもの病気と病児保育室の利用についてのお話をいただき、登園基準、疾患についての理解が得られたとのお話でした。

2. 岩手愛児会 子育て支援センター長 赤坂徹「乳幼児の発達と病気」は乳幼児の身体的、精

神的な発達と子どものかかりやすい感染症についてお話をいただきました。

3. 城東こどもクリニック病児保育室ことりの森 竹内 郁子「保育室の遊び」は病児保育における領域「言葉」「環境」と保育計画立案について解説し、実践編としてパネルシアター「げんこつやまのためきさん」を制作しながら参加者同士でじゃんけん勝負しました。明日からの保育実践に役立つ内容でした。

山口クリニックスタッフの皆様、岩手県の皆様お疲れ様でした。北東北の皆様、来年の開催地は青森県八戸市です。一緒に盛り上げていきましょう。

全国病児保育協議会新規加入の施設

- 399 ◆病児保育室のこのこ
 施設長 佐村 真紀
 〒533-0023
 大阪府大阪市東淀川区東淡路3丁目4-15
 TEL:06-7501-9416 FAX:06-7501-9416
- 400 ◆東北大学病院病児保育室
 病院長 里見 進
 〒980-8574
 宮城県仙台市青葉区星陵1番1号
 TEL:022-717-7819 FAX:022-717-7819
- 401 ◆母恋内科クリニック
 医師 横山 洋子
 〒051-0004
 北海道室蘭市母恋北町1-3-14
 TEL:0143-23-2006 FAX:0143-25-2005
- 402 ◆病後児保育室レインボーキッズ
 院長 山下 英俊
 〒891-0141
 鹿児島県鹿児島市谷山中央5-21-22
 TEL:099-210-2211 FAX:099-260-2110
- 403 ◆病後児保育ルーム ますくまん
 看護師 芦澤 真知子
 〒272-0023
 千葉県市川市南八幡4-7-13
 シャンポール本八幡803
 TEL:047-379-6700 FAX:047-379-6656
- 404 ◆名護療育園
 施設長 泉川 良範
 〒905-0006
 沖縄県名護市宇字茂佐 1765 番地

- TEL:0980-52-0957 FAX:0980-53-1351
 405 ◆うちやまこどもクリニック
 病後児保育室 ライオンのこどもべや
 院長 内山 浩志
 〒146-0085
 東京都大田区久が原3-36-13
 TEL:03-5747-0750 FAX:03-3753-7192
- 406 ◆片山こどもクリニック
 プラス1病児保育室
 理事長 片山 道弘
 〒487-0034
 愛知県春日井市白山町8丁目2-6
 TEL:0568-51-3907 FAX:0568-53-0205
- 407 ◆病児保育室「きりん」
 医師 荒井 宏治
 〒036-8093
 青森県弘前市大字城東中央4丁目2-8
 TEL:0172-27-2235 FAX:0172-27-0055
- 408 ◆畑川小児科病児保育室
 院長 畑川 祐一郎
 〒736-0082
 広島県広島市安芸区船越南3-5-3
 TEL:082-823-8181 FAX:082-823-8181
- 409 ◆キッズルーム TinkerBell
 代表 平野 美紀
 〒354-0018
 埼玉県富士見市西みずほ台1-21-20
 TEL:049-255-5289 FAX:049-255-5289
- 410 ◆病後児保育室 かみなりくん(仮称)
 理事長 川合 宗次
 〒501-6229
 岐阜県羽島市正木町坂丸2丁目97番地
 TEL:058-393-2608 FAX:058-393-2608

TOPICS

4月20日～22日

の両日京都で第110回日本小児科学会学術集会在開催されました。

その総会場で本年度の「小児保健賞」の発表と表彰式があり、当協議会名誉会長の保坂智子先生が選ばれました。病児保育の推進に関して永年のご功績

が称えられたわけで、協議会としても大変誇らしく、心からお祝いを申し上げます。

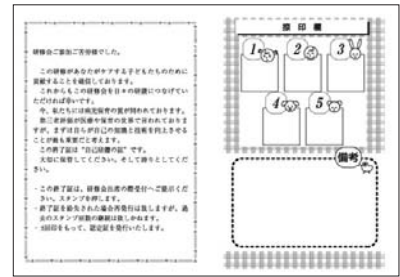
また、一般演題では、「病(後)児保育の現状と今後の展望」という題で、広報委員長の神原雪子先生が全国病児保育協議会の名で発表されました。ポスターでしたが、口演発表の後にもポスターの前で参加者の質疑・討

論が長く続いていました。これからも、協議会活動を紹介する場を広げていく必要があると強く思いました。

以上、簡単ですが、ご報告申し上げます。

文責 全国病児保育協議会会長 木野 稔

第17回全国病児保育研究大会に、受講証を持参ください。受付の全国病児保育協議会事務局にて参加確認印を捺印してもらい、5回分たまった時点で協議会事務局に申請していただくと認定証が発行されます。



第17回

全国病児保育研究大会in福岡

- 日時 平成19年7月15日(日)～16日(月祝)
 - 会場 福岡国際会議場
- 会頭/高崎 好生 実行委員長/井上 賢太郎

拓こう病児保育の未来を 保育の質の向上をめざして

◆プログラム

- 特別講演 (横山正幸/福岡教育大学教授)
「これからの育児中の家庭支援のあり方」
一発達的視点から育児問題を考える一
- 基調講演 (帆足英一/全国病児保育協議会顧問)
「病児保育の資質向上(仮題)」
- 教育講演1 (武谷 茂)
「保育における病児の印象診断」

- 教育講演2 (濱野良彦)
「歯とこどもの心のつながり」
- 教育講演3 (吉永陽一郎)
「育児支援スタッフのための育児支援のノウハウ」
基礎研究プログラム、分科会(一般演題)、
ポスター発表など

主催：全国病児保育協議会
<http://www.byoujihouiku.ne.jp>
 事務局：しんどう小児科医院
 TEL.(092)865-7100 FAX.(092)865-7200

後援：福岡県・福岡県医師会・福岡県小児科医会・福岡
 地区小児科医会・日本女医会・福岡県看護協会・
 福岡市保育協会

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 新しい施設紹介のポスターができました ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



＜申込方法＞
 全国病児保育協議会のホームページにアクセス、加盟施設向けポスターの中にある申込用紙をダウンロードして申し込んで下さい。
 手順① 申込用紙をダウンロードし、必要事項を全て記入して申込先にFAXで申し込んで下さい。
 手順② 申込後5日位後に施設名等が入った点検用ポ

スターが、FAXで送信されますので内容を点検して、訂正が無ければ電話で、訂正があればFAXで申込先にご連絡下さい。
 手順③ 手順②が終了後1週間位後にポスターが届きますので、同封の振替用紙にて郵便局から送金して下さい。
 ＜頒布価格＞
 A4サイズ＝1枚105円
 A3サイズ＝1枚210円
 送料＝650円
 10枚以上申し込んでいただくと送料が、無料になります。

診察室から 10

八尾徳洲会総合病院

小児科医長 神原 雪子

インフルエンザよもやま話

昨シーズン(2005/9-2006/08まで2005/06シーズン)は、中規模の流行といわれました。

今シーズン(2006/8-2007/9まで2006/07シーズン)はみなさんも感じておられたと思いますが、インフルエンザの流行が例年に比べてかなり遅く始まりました(図1)。このような情報は国立感染症研究所感染情報センターのホームページから知ることが出来ます。

さまざまな感染症についての情報がのっており、今の流行状況、対応方法についてなどがわかります。その情報の中に「インフルエンザ流行レベルマップ」があり、インフルエンザの流行について警報・注意報システムがあります。

これは厚生労働省・感染症サーベイランス事業により、指定された医療機関を受診した患者数が週ごとに把握され、過去の発生状況をもとに各保健所で基準値が設定され、それをこえると注意報や警報が発生されるしくみになっています。

警報:

大きな流行あり

注意報:

流行前であれば今後4週間以内

に大きな流行が発生する可能性がある

流行発生後ならその流行がまだ終わっていない可能性がある

天気予報みたいですね。これは公衆衛生上その流行現象を早期に把握して原因究明や拡大阻止対策を講ずるために行われています。感染症サーベイランスは麻疹や風疹、感染性胃腸炎、突発疹なども行われています。定点医療機関に指定されている医療機関の併設型病児保育室もあるかと思えます。

ホームページをみてインフルエンザだけでなく感染症の流行状況を確認して、病児にどのような感染症が多いのか、またどんなものが地域や保育所などではやっているのかみてるのも参考になると思います。

国立感染症研究所 感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

*タミフルについて

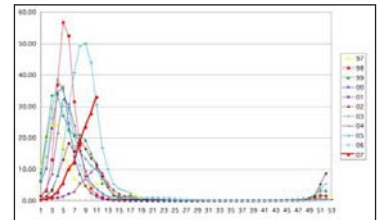
スイスのロシュ社で製造され日本の中外製薬から発売されており、インフルエンザウイルスの増殖を抑えることで治癒期間が短く出来るというものです。今年はいろいろ議論が巻き起こされました。副作用として精神症状を呈することから異常行動により転落事

故などがおこるといわれ、マスクでもとりあげられ医療現場は混乱しました。みなさんのところではどうでしたでしょうか。

インフルエンザ脳症の初発症状にも異常行動や幻覚なども認めるといわれており、その鑑別が困難ですが、タミフルを投与した場合は48時間は観察する、また厚生労働省から10歳以上にはタミフル投与を控えるようにとのコメントもだされました。

病児保育は年齢制限があるところと緩やかなところがあると思いますが、10歳以上のお子さんを観察するために仕事を休むということは、結構負担だとおっしゃったお母さんもおられました。

インフルエンザの合併症は1~5才に多いといわれており、抵抗力も弱いこの年齢にタミフルを使用する方向になるのではないかと思います。また年齢が大きい場合は吸入型の抗インフルエンザ薬(リレンザ)が使用される場合がでてくると考えられます。



11し〜保育日誌9

おきあがりこぼし

当施設は平成14年9月、医療機関併設型として開設、利用定員は4名、スタッフは看護師1名、保育士2名、サポートとして事務、外来看護師が保育に携わっています。

今回は保育室で人気のある制作について紹介します。

準備するもの
画用紙、はさみ、のり

作り方

①画用紙に直径7~10センチの円を書き、半分に折る。

②折り目のところにこどもの好きなキャラクターを書いて貼り付けてできあがり。

ことりの森

保育士 竹内 郁子

保育士 佐藤 誠子

年齢の高い子は一緒にキャラクターをかくて同室の子にあげたり、重症度の高い子や乳児はおうちに帰ってから遊ぶので人気があります。ユラユラと揺れてかわいいですよ



好評販売中です

「必携 新病児保育マニュアル」

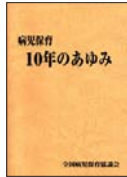
- B5版 378頁
- 価格 1冊 会員3000円
(送料・税込み)
- 非会員4000円
(送料・税込み)



病児保育に関する事がすべて網羅されたバイブル的マニュアル本です。一人に1冊持っていたきたい必読書です。

「病児保育10年のあゆみ」

- B5版 104頁
- 価格は 1冊1600円
(送料・税込み)



全国病児保育協議会設立10周年を記念して発行され、設立当初からの歴史を網羅しました。
※ご購入は、全国病児保育協議会のホームページより申込書をダウンロードしてFAXにて全国病児保育協議会事務局までお申し込み下さい。

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させていただきます。原稿をお待ちしています。

＜協議会ニュース 編集事務局＞

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5
(株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛
TEL.06-6453-3675 FAX.06-6442-5788
E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

第18回 全国病児保育研究大会 開催のお知らせ

2008年(平成20年)の開催が予定されている第18回全国病児保育協議会研究大会は三重県四日市市で開催される事になりました。内容が決まり次第病児保育協議会ニュース・ホームページで順次お知らせします。

日時：2008年(平成20年)
7月20日(日)・21日(月・祝)
開催地：三重県四日市市

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただいたり、ニュース等に掲載させていただきます。
送付先：FAX06-6442-5788、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

お詫び

全国病児保育ニュース第42号の新規加入施設紹介コーナーで、子どもデイケア「暖家」の施設長の氏名が誤っていました。正しくは「小倉秀美」様でした。関係各位の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

全国病児保育協議会新規加入の施設

411 ◆川畑医院 病児保育室 ぱらんせ
院長 川畑 清春
〒892-0872

鹿児島県鹿児島市大明丘 2-22-21
TEL:099-294-5000 FAX:099-294-5000

412 ◆(株)イディア・コーポレーション
キッズケアきらり
代表取締役 江端 和良
〒311-4152

茨城県水戸市河和田 1-15-13-25
TEL:029-257-8864 FAX:029-309-5577

413 ◆病児・病後児保育室北戸田駅前園
代表取締役 初見 雅人
〒335-0021

埼玉県戸田市大字新曾字芦原 2002-12
TEL:048-447-7772 FAX:03-5911-2020

414 ◆かわの小児科 病児保育室
院長 川野 好文
〒899-5111

鹿児島県霧島市隼人町姫城 1-119
TEL:0995-42-8866 FAX:0995-43-4881

415 ◆越谷市病後児保育室
代表 松本 實
〒343-0808

埼玉県越谷市赤山本町 3-21 皐月ビル 2F
TEL:048-969-5686 FAX:048-969-5687

416 ◆のぎく保育園ケアルーム
園長 川中 清子
〒538-0051

大阪府大阪市鶴見区諸口 5丁目浜 14-6
TEL:06-6913-9622 FAX:06-6913-9621

これ以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局

〒535-0022 住所：大阪市旭区新森 4-13-17 中野こども病院気付

担当：藪田・堀込 電話：06-6952-4778 FAX：06-6954-8621